

動画
de 広報

「大きくて 立派なお魚に なってね！」



本川根小児童と 桜保育園児が アマゴの稚魚を放流

新大井川漁協本川根支部は、環境保全の意識啓発と川を正しく恐れて遊ぶための注意喚起を目的に、町内園児・児童を対象としたアマゴ放流体験を大井川支流の小長井河内川(小長井区)にて行いました。

5月27日は、本川根小学校児童49人が約1500匹を、6月17日には桜保育園児27人が約500匹を放流しました。放流したアマゴは同漁協が5カ月間育てた稚魚で、体長は3〜5センチほど。漁協メンバーからバケツや容器に分けてもらおうと、時折勢いよく跳ね上がる稚魚に注意しながら丁寧に放流しました。

本川根支部長の岡本優さんは「川を汚さないこと、生き物を大切にすること、ひとりだけや子どもだけで川遊びをしないこと、この3つを守ってください」と児童や園児に呼び掛け、本川根小4年の川島彬人さんは「近所に住んでいるので、時々家族と一緒に様子を见に来たい。立派に大きくなってくれたらうれしい」と話しました。

